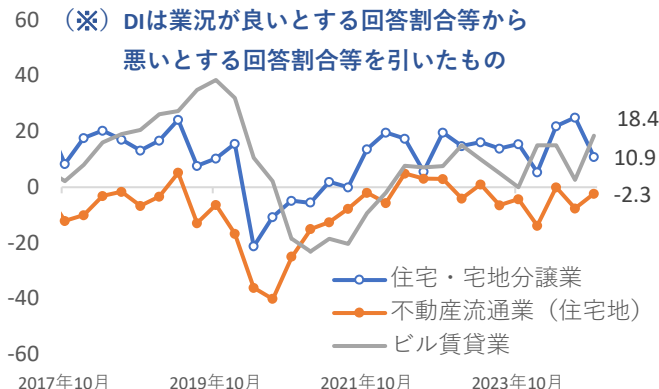


足許の不動産市況動向

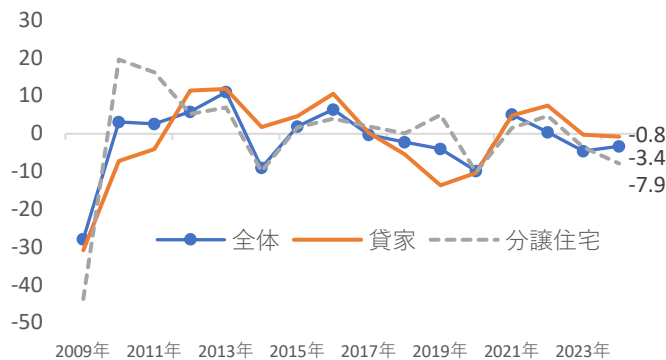
①不動産業 業況指数 (DI値) の推移



(資料) 土地総合研究所

業況指数 (景況感) は、分譲、ビル賃貸がプラス圏にある一方、流通 (仲介) は業況が厳しいとする意見が多い。

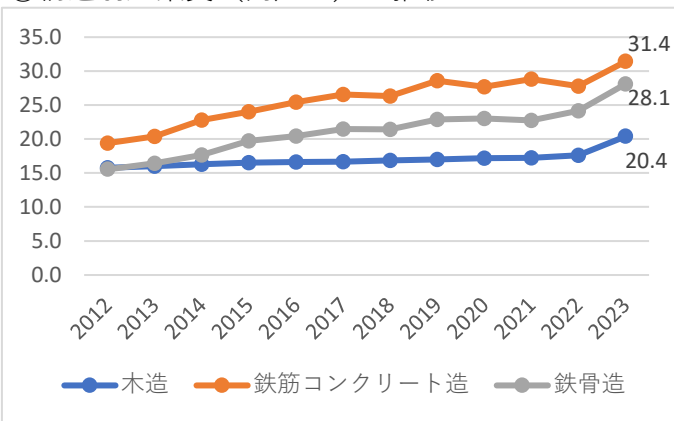
②新設住宅着工戸数 前年比 (%) の推移



(資料) 建築着工統計 2024年は1~11月の前年比

リーマンショック後の新設住宅着工戸数は回復後一進一退がつづいており、足許の着工戸数は前年より減少した。

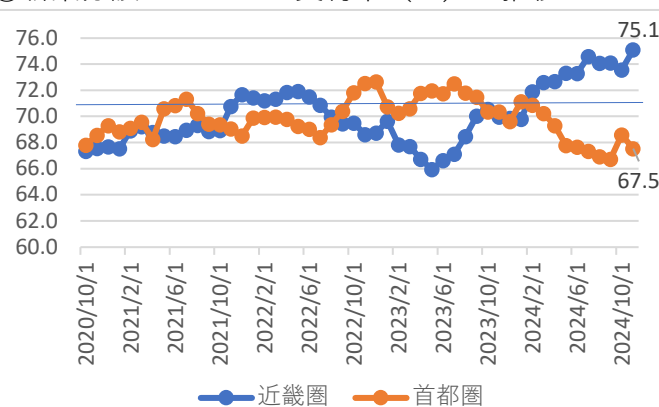
③構造別建築費 (円/m²) の推移



(資料) 建築着工統計 工事費予定額÷床面積

資材価格や人件費、輸送費の上昇により、建築費は上昇傾向にあり、2023年は大幅な上昇傾向がみられた。

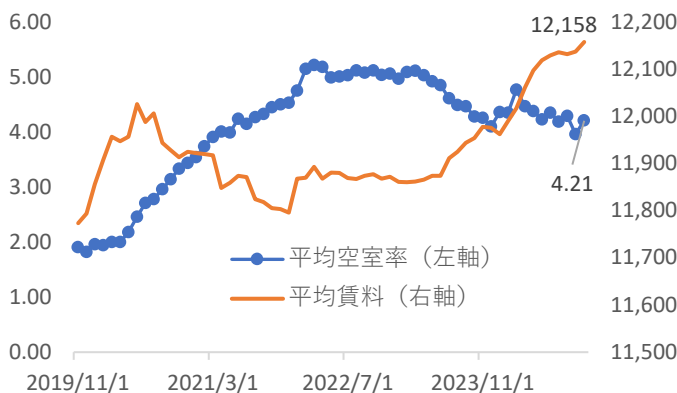
④新築分譲マンション 契約率 (%) の推移



(資料) 不動産経済研究所 12ヵ月移動平均値

新築マンションの契約率は、近畿圏が改善基調にある一方、首都圏は低下傾向で推移している。※70%が好調ライン

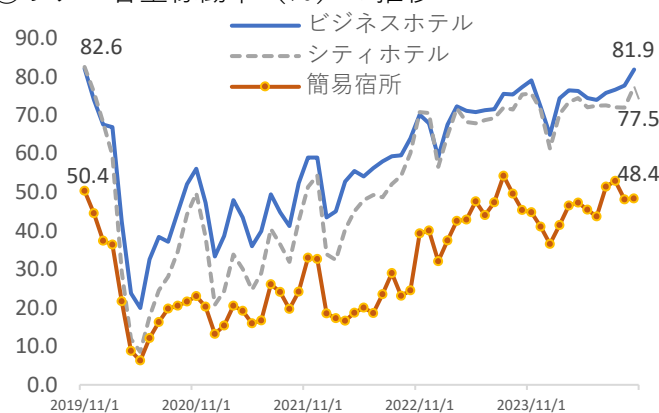
⑤オフィス空室率、平均賃料 (%) の推移



(資料) 三鬼商事 大阪オフィスビル

大阪のオフィスビル市況は、2023年以降、空室率は一進一退あるも低下傾向、賃料は上昇傾向がつづいている。

⑥ホテル客室稼働率 (%) の推移



(資料) 観光庁

ホテル客室稼働率は、各業態ともに2020年5月の大幅な落ち込み後、ほぼコロナ前の水準まで回復した。

※この資料は情報提供を目的とし投資勧誘を行うものではありません。また、この資料を基に行った判断について当社は一切責任を負いません。これらデータの著作権は各著作権者に帰属します。(文責：阪口)